

取扱説明書

PM2.5 と CO2 センサー搭載
静電気フィルタ式空気清浄機

型番 **BA-600**



密を検出する

CO₂

センサー搭載

汚れを検出する

PM2.5

センサー搭載

適用床面積
(目安)

43畳

14畳を清浄
する目安

5.7分

静音設計
(おやすみ運転)

26dB



キャスター付

目次

特長	P1
安全上のご注意	P2-3
各部のなまえと働き	P4-5
ご使用前に	P6
使いかた	P7-9
CO ₂ 濃度のしきい値について	P10
CO ₂ センサーの校正について	P11
置き方について	P12
お手入れ	P13-14
故障かな！？	P15
仕様	P16
保証・アフターサービス	P17
梱包内容	裏表紙

特 長

■ 0.04 μm のウイルスまで99.98%キャッチ

空気中の微小な細菌・ウイルスを逃しません。

■ フィルタの水洗い可能

フィルタを洗うことによって、交換コストをかけずに清浄性能を保つことができます。

■ PM2.5センサーとCO2センサー搭載

空気の汚れ具合とCO2濃度が数値で分かります。

■ CO2濃度によるアラームと自動風量調整 ※

換気が不十分な場所において、混み具合によって風量を調整し、空気中のウイルスや菌を除去し、エアロゾル感染や空気感染のリスクを低減します。

また、設定した濃度を超えると、アラーム音を鳴らし、換気を促します。

■ 分かりやすい色表示

CO2またはPM2.5の濃度に応じて、表示灯の色が四段階変わります。

※ 空気清浄機はCO2濃度を下げるものではありません。

CO2濃度を下げるには換気か混雑状況の解消が必要です。

安全上のご注意 必ずお守りください

誤った使い方で生じる内容を次のように区分して、説明しています。



警告

「死亡、または重傷を負う恐れがある」内容。



注意

「軽傷を負う、または財産に損害を受ける恐れがある」内容。

お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。



してはいけないこと。



しなければいけないこと。

警告



配線器具の定格を超える使いかたや交流 100V 以外では使わない。

(火災・感電の原因)

電源コードを傷付ける・加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・束ねる・高温部に近づけるなどしない。

(電源コードが破損し、火災・感電の原因)

重いものを載せたり挟み込ませない。

(電源コードが破損し、火災・感電の原因)

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使わない。

(火災・感電・ショートの原因)

ぬれた手で抜き差ししない。

(感電の原因)

移動するときに電源コードを傷付けない。

(感電や発熱・火災の原因)

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない。

(感電・故障の原因)

お茶や水などをこぼさない、水につけたり、水をかけたりしない、本体に直接水を入れない。

(本体内部に水が入り、感電・ショート・発火の原因)

塩素系や酸性の洗剤は使わない。

(洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害す原因)

改造はしないまた、修理技術者以外は、分解修理をしない。

(火災・感電・けがの原因)

幼児の手の届く範囲では使用しない。

(感電・けがの原因)



電源プラグは根元まで差し込む。傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使わない。

(感電やショート、発熱による火災の原因)

電源プラグのホコリなどは定期的に取り。電源プラグを抜き、乾いた布でふく。長期間使わないときは、電源プラグを抜く。

(ホコリがたまり、湿気などで絶縁不良になると火災の原因)

お手入れや点検、移動時には必ず運転を停止し、電源プラグを抜く。

(感電やけがの原因)

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常・故障例

●パネル取付け後、スイッチを入れても運転しない場合がある。

●コードを動かすと通電したり、しなかったりする。

●運転中に異常な音や振動がする。

●本体ケースが変形していたり異常に熱い。

●こげ臭いニオイがする。

(異常のまま運転を続けると、故障や感電、発熱、火災などの原因)

⚠ 注意



こんな場所には置かない。

- 不安定な場所や高い場所
(落下や転倒によるケガや家財の漏電・感電・火災の原因)
- 浴室など、高温・高湿・水のかかる場所
(漏電による、感電や火災の原因)
- 油や可燃性ガスなどを使用したり、漏れる恐れのある場所
(引火や本体への吸引による発火や発煙の原因)
- 動植物に直接風が当たる場所
(風による乾燥の原因)
- 吹出口の風が家具や壁に直接当たる場所
(シミの原因)
- 加湿器の近く
(静電気フィルタ内のショートの原因)
- ストーブなどの燃焼器具
(CO2濃度によるインジケータが赤になったままになる可能性があります)

ベンジンやシンナーで拭かない。

煙が出るタイプの殺虫剤を使うときは運転しない。
(蓄積した薬剤成分が吹出口から放出され、健康を害する原因)



上に乗ったり、寄りかかったりしない。
(転倒によるケガの原因)

可燃物や火のついた煙草・線香などを近づかない。
(引火による火災の原因)



移動するとき、運転を止め、電源プラグを抜く。
電源プラグを抜くときは、プラグ部を持って抜く。
(コードが破損し、ショートなどによる感電や火災の原因)

燃焼器具と一緒に使うときは、換気する。
(一酸化炭素中毒の原因)
●一酸化炭素を除去するものではない

使用上のお願い

一週間に最低一時間以上運転を止める。
静電気フィルタの性能を維持する為に必要です。

こんな場所には置かない

- 直射日光やエアコンの風/熱が当たる場所
(変形や変質、変色、ご動作の原因)
 - 窓際などCO2センサー付近をふさぐ場所
(CO2センサーが正しく働かない原因)
 - テレビやラジオの近く
(映像の乱れや雑音の原因)
- 1m以上離して置いてください。また、これらの機器と一緒にコンセントに電源プラグを差し込むと、映像の乱れや雑音が発生することがあります。その場合は別のコンセントを使ってください。

本体の上に磁石や金属物、水の入ったコップは載せない
(タッチスイッチが誤動作する原因、水がこぼれて故障と感電の原因)

長時間、同じ場所で使うときは

本体周辺の壁や床などが汚れることがあり、時々設置場所を移動したり、定期的に壁や床を清掃することをおすすめします。

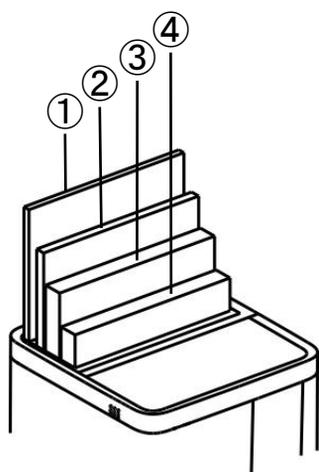
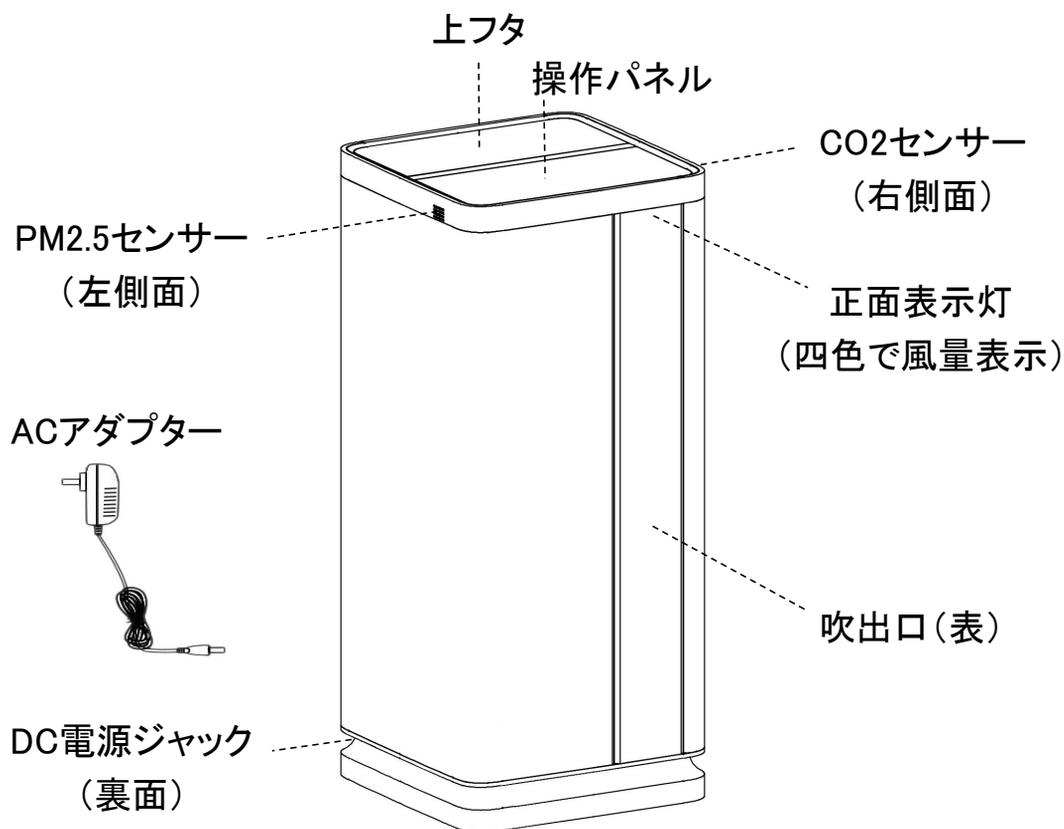
花粉などのハウスダスト対策には床置き

花粉やホコリなどは床近くに舞い落ちやすいため、本体をお部屋の平らな床に設置することをおすすめします。

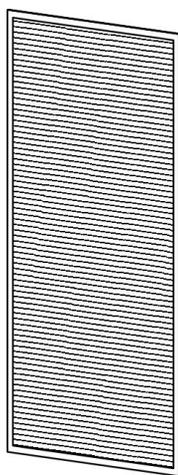
お部屋の空気を効率よく循環させるために

吸気口や吹出口をふさがらないよう、本体の左右と後を壁や家具、カーテンなどから約30cm以上離して設置してください。真上は100cm以上空ければ効率よくご使用いただけます。

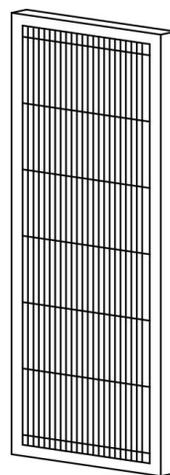
各部のなまえと働き



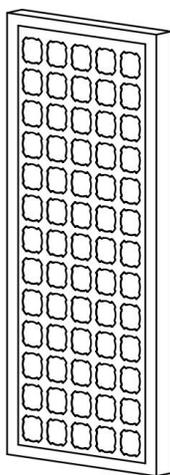
①プレフィルタ
BA-PF600



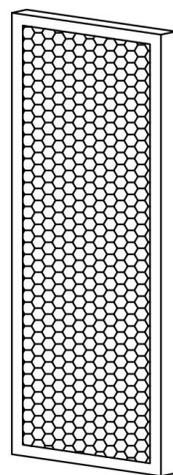
③静電気フィルタ
BA-MF600



②イオン発生モジュール
BA-MF600

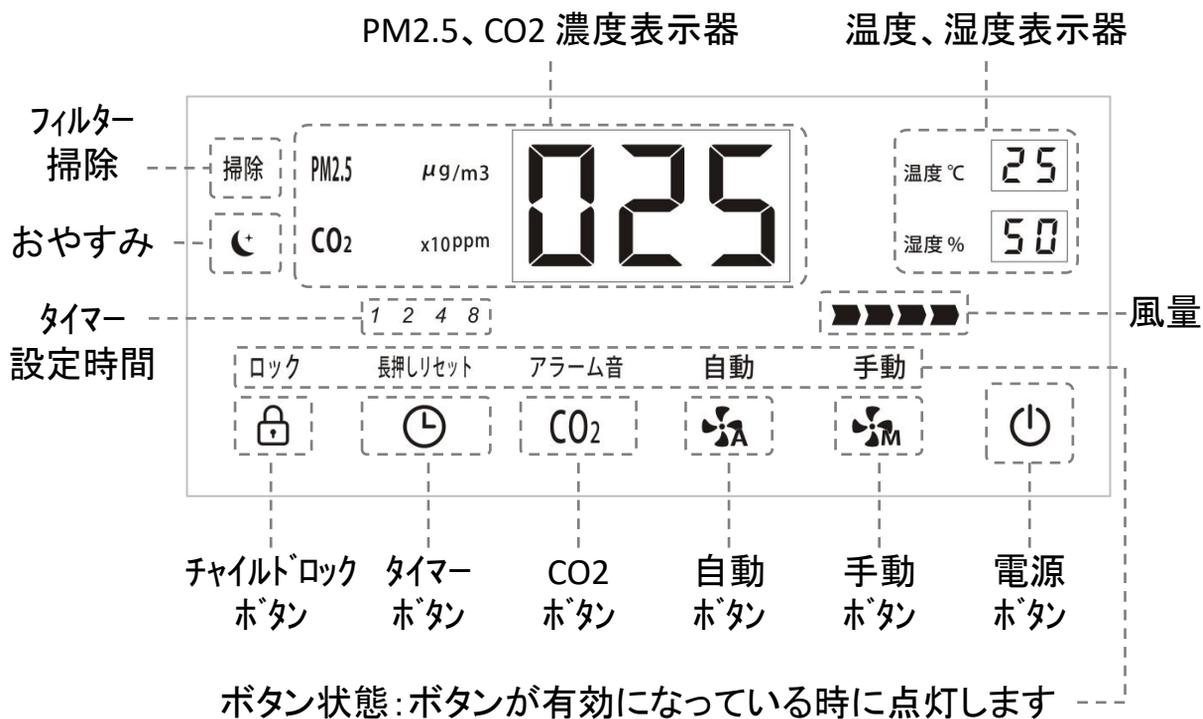


④消臭フィルタ
BA-SF600



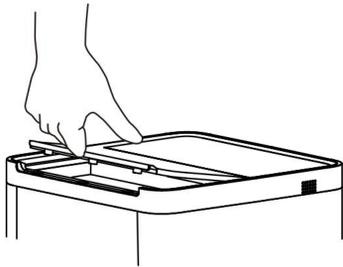
各部のなまえと働き

操作パネル



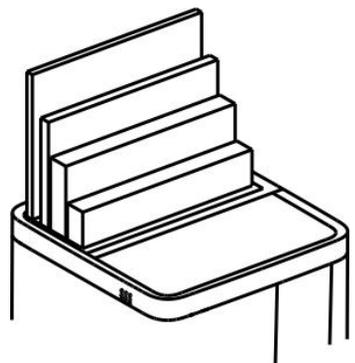
ご使用前に

① 上フタを開けます。

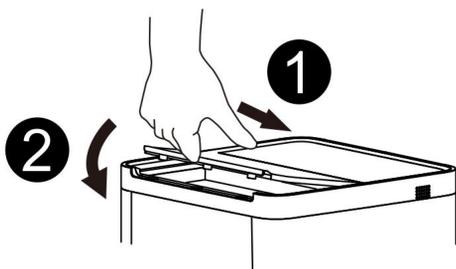


② フィルタが装着されていることを確認します。

- フィルタ類が4枚揃っているか
- イオン発生モジュール、静電気フィルタの位置と方向が正しいか

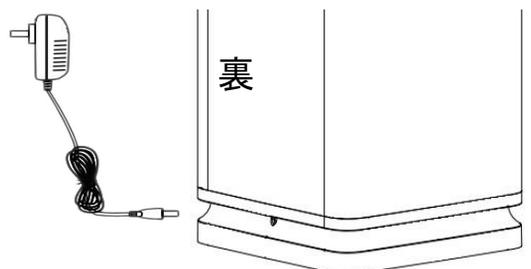


③ 上フタを閉めます。



④ ACアダプターのDCジャックを本体に差し込んだ後、ACアダプターをコンセントに差し込みます。

- 電源が入ったら、本体がピツとなり、電源表示が点滅します。



使いかた

運転開始/停止

本体は電源が入ったら、待機状態になり、電源ボタンがゆっくり点滅します。運転が開始したら、PM2.5センサーのウォームアップが始まり、約30秒かかります。この間、3桁のデジタル表示が点滅し、風量が1に固定されます。

操作方法：

待機状態で電源ボタンをタッチすると、自動運転が開始し、運転状態になります。また、運転中に電源ボタンをタッチすると、運転が停止し、待機状態になります。



電源ボタン

手動運転

一定の風量で運転します。風量が1、2、3、4、おやすみと5段階あります。



手動ボタン

操作方法：

手動ボタンをタッチすると、手動ランプが点灯し、タッチするたびに、風量が切り替わり、風量ランプも変わります。おやすみの場合、おやすみランプが点灯し、手動ボタンと電源ボタン以外のボタン操作ができなくなり、デジタル表示と正面表示灯も消えます。



風量ランプ



おやすみランプ

自動運転

PM2.5センサーとCO2センサーによる自動運転です。3つの運転モードがあります。

- ① PM2.5センサー運転モード：PM2.5センサーにより、ホコリの濃度にあわせて自動で風量を調整します。
- ② CO2センサー運転モード：CO2センサーにより、CO2濃度にあわせて自動で風量を調整します。
- ③ PM2.5+CO2センサー運転モード：PM2.5とCO2の濃度の高い方にあわせて自動で風量を調整します。

使いかた (つづき1)

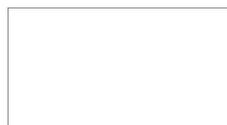
操作方法:

自動ボタンをタッチすると、自動ランプが点灯し、運転モードが順番に切り替わります。



自動ボタン

PM2.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$



① PM2.5センサー運転モード

CO₂ x10ppm



② CO2センサー運転モード

PM2.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$

CO₂ x10ppm



③ PM2.5+CO2センサー運転モード

CO2アラーム音のオン/オフ

CO₂濃度が「高い」のしきい値を超えると、アラーム音が鳴り、換気を促します。しきい値の説明について、「CO₂濃度のしきい値、風量、アラーム音、表示灯色の関係」をご参照ください。この機能はPM2.5センサー運転と手動運転中でも有効です。

操作方法:

CO₂ボタンをタッチすると、アラーム音ランプが点灯し、アラーム音がオンになります。もう一度タッチすると、ランプが消灯し、アラーム音がオフになります。

CO₂

CO₂ボタン

CO2基準の設定

CO₂基準が3パターンあり、風量が切り替わるしきい値がそれぞれ異なります。しきい値の説明について、「CO₂濃度のしきい値、風量、アラーム音、表示灯色の関係」をご参照ください。

操作: CO₂ボタンを長押しして、3桁のデジタル表示が点滅し、「高い」のしきい値が表示されます。CO₂ボタンをタッチすると、パターンが切り替わります。しばらく待つか他のボタンをタッチすると設定が終了します。

CO₂

CO₂ボタン
(長押し)

使いかた (つづき2)

オフタイマー

決まった時間になると、自動的に運転が停止します。
設定可能な時間が1、2、4、8時間と4つあります。



タイマーボタン

操作方法:

運転中、オフタイマーボタンをタッチすると、時間表示器の表示が切り替わり、タイマーがスタートします。

1 2 4 8
時間表示器

チャイルドロック

ボタン操作をできなくし、ご操作を防ぎます。

操作方法:

運転中、チャイルドロックボタンを5秒間長押しすると、チャイルドロックボタン以外のボタンがロックされます。再び5秒間長押しすると、ロックが解除されます。



チャイルドロック
ボタン

フィルタ掃除アラートのリセット

累積運転時間が40～60日間に達すと、アラートが出てフィルタの掃除を促します。フィルタの掃除が終わった後、手動でアラートを削除する必要があります。

掃除

掃除ランプ

操作方法:

掃除ランプが点滅したら、フィルタを掃除してください。掃除後、タイマーボタンを長押しすると、掃除ランプが消え、アラートが削除されます。



タイマーボタン
(長押し)

CO2濃度のしきい値について

CO2濃度のしきい値は自動運転時の風量、表示灯の色、CO2アラームに関連しており、使用される環境によって、3パターン選択できます。

パターン1: CO2濃度が1000ppmに達した時、風量が最大になり、換気を促すアラーム音が鳴ります。殆どの環境に適用した設定です。

パターン2: CO2濃度が1500ppmに達した時、風量が最大になり、換気を促すアラーム音が鳴ります。石油ストーブのようなCO2を発生させている環境でご使用いただけます。

パターン2: CO2濃度が2000ppmに達した時、風量が最大になり、換気を促すアラーム音が鳴ります。石油ストーブのようなCO2を発生させている環境でご使用いただけます。

※ CO2濃度が高いことは、人が多いことを意味し、空気清浄機はCO2濃度が高くなったことを検出し、自動的に風量を上げて、空気中の細菌やウイルスを取り除き、感染症のリスクを低減します。

※ CO2濃度が1000ppmを超えると換気するように厚生労働省から推奨されているため、1000ppmを最大風量の目安にしています。

※ 出荷時はパターン1に設定されています。

CO2濃度	CO2濃度のしきい値 (ppm)			正面表示灯	風量	アラーム音
	パターン1	パターン2	パターン3			
低め	～800	～1000	～1200	青色	1	鳴らない
普通	800～900	1000～1200	1200～1600	緑色	2	鳴らない
高め	900～1000	1200～1500	1600～2000	黄色	3	鳴らない
高い	1000～	1500～	2000～	赤色	4	鳴る

CO2センサーの校正について

自動校正

本体内蔵のCO2センサーに自動校正機能があり、24時間ごとに自動校正が実行され、過去24時間のCO2濃度の最小値が420ppm(外気のCO2濃度に相当)として設定されます(本体が給電され続けている場合に限りません)。

CO2センサーが正しく校正されるために、毎日1回以上は窓を開けるなどして換気するようにしてください。換気せずに校正が実行されると、CO2濃度の測定値が実際より低く認識されることがあります。

CO2センサーの値が正しくないと感じた場合、手動で校正することができます。

手動校正

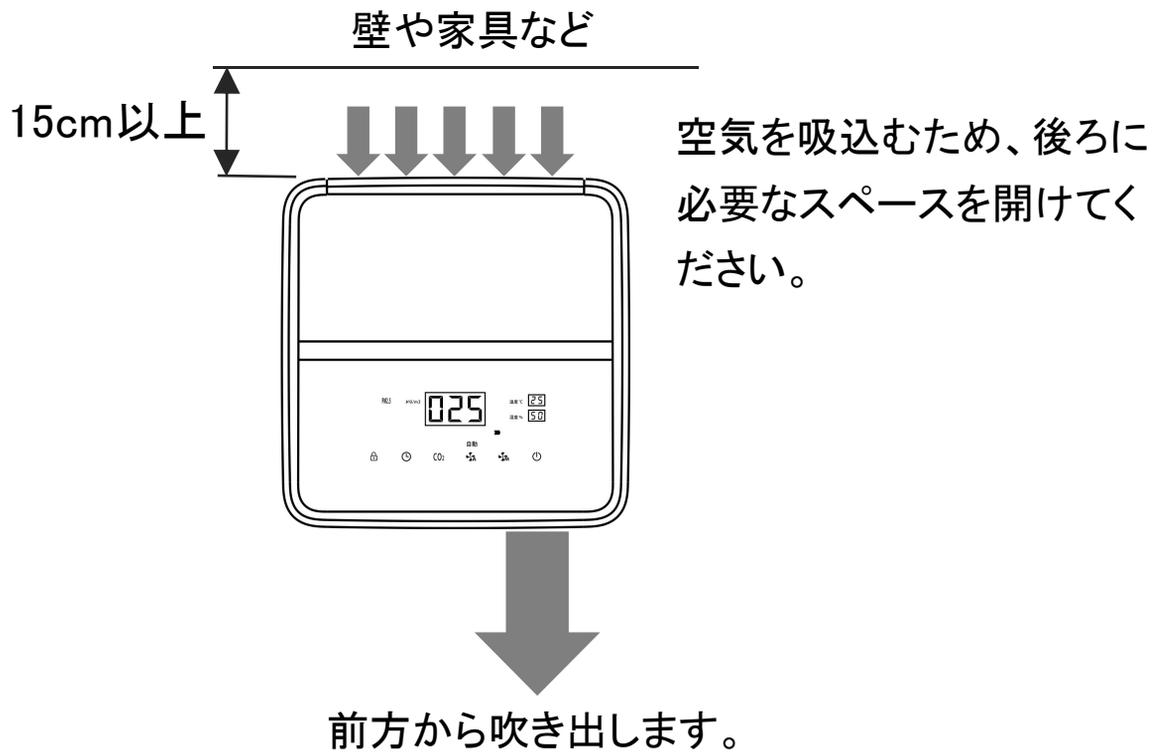
屋外や開いた窓のそばなど、十分に換気されている環境下でCO2センサーを手動校正することができます。

操作方法:

ACアダプターが繋がっており、電源がOFFの状態です。電源ボタンを5秒以上長押しし、CO2ボタンが点滅し出したら、10秒以内にCO2ボタンを押し、3桁のデジタル表示器が600秒(10分間)のカウントダウンが始まります。カウントダウン中、空気清浄機から離れてください。カウントダウンが終わると、校正が完了し、運転が開始します。



置き方について



お手入れ



プレフィルタとイオン発生フィルタと静電気フィルタは洗浄前にアルコールや中性洗剤を振りかけて5分間除菌した後、掃除してください。その際にマスクや手袋を着用ください。

お手入れの頻度

- 油煙や煙が多い場所: 毎月
- 油煙や煙が少ない場所: 3カ月毎

イオン発生モジュールと静電気フィルタのお手入れ

- 水洗いは可能です。
- 掃除は、本体から取り出して10秒以上待ってから行ってください。
- 頑固な汚れは中性洗剤を吹きかけた後にフィルタの隙間に沿って柔らかいブラシで掃除してください。
- 油汚れが多い場合は、油汚れ専用クリーナー(弱アルカリ性)をスプレーして、ぬるま湯できれいに洗い流してください。 ※ 洗剤がフィルタに残っていると、フィルタ内で高電圧のショートが発生し、放電音がしたり、正常に動作しなかったりすることがあります。
- 掃除後、水をよく切って完全に乾くまで干してください。
- 本体に元す時は方向に注意してください。



硬いブラシで掃除すると、フィンが傷つくおそれがあります。



熱湯をかけると、フィンが傷つくおそれがあります。



乾燥せずに本体に戻すと、故障の原因となります。



挿入方向を間違えると、正常に動作しません。

お手入れ (つづき)

プレフィルタのお手入れ

- ブラシ、ハケまたは掃除機で埃を取り除いてください。
- 水洗いも可能です。
- 油汚れが多い場合は、油汚れ専用クリーナー(弱アルカリ性)をスプレーして、ぬるま湯で洗い流してください。

消臭フィルタのお手入れ

- 消臭フィルタに消臭機能がある一方、本体内部の風の流れをよくする機能もあります。消臭フィルタの消臭効果は約1年間持続しますが、消臭効果がなくなった後も、入れたままにしてください。
- 消臭フィルタは水洗いすると消臭効果が落ちます。掃除する際に、柔らかいブラシやハケを使ってください。フィルタの表面に硬いものを当てると、変形するおそれがあります。
- 消臭効果を維持するには、定期的に新しい消臭フィルタに取り替えてください。

故障かな！？

まず、次の確認をしてください。直らない時は、必ず電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。

こんなときは	ここを確かめてください
風が出ない	ACアダプターのプラグが外れていませんか？ ⇒ コンセント側と本体側のプラグをきちんと差し込んでから、電源を入れてください。
風が弱い	プレフィルタが汚れていませんか？ ⇒ プレフィルタを掃除してください。
長時間運転しても空気の汚れが取れにくい	一部のフィルタを入れ忘れていませんか？ ⇒ 全部のフィルタを入れてください。
	フィルタが汚れていませんか？ ⇒ フィルタを掃除してください。
	湿度が高くて、製品内で結露していませんか？ ⇒ 浴室やトイレに置かないようにしてください。
	製品の周りに、障害物はありませんか？ ⇒ 周りのスペースを確保してください。
	お部屋の面積が広すぎませんか？ ⇒ 適用最大床面積以内の広さでお使いください。
風においがする	たばこや焼肉などにおいの強い環境で長期間使用していませんか？ ⇒ フィルタを掃除してください。
	⇒ 動作時に微量のオゾンが発生しますので無臭ではありません。
運転中、ボタン操作が効かない	チャイルドロックがかかっていませんか？ ⇒ チャイルドロックボタンを3秒間押してください。
パチパチと音がする	静電気フィルタに埃が溜まっていませんか？ ⇒ フィルタを掃除してください。
	静電気フィルタが浮いていませんか？ ⇒ フィルタを奥に突き当たるまで押し込んでください。
	加湿器の付近や調理場、風呂場など湯気の出る所で使っていませんか？ ⇒ 高湿度でのご使用を避けてください。

仕 様

型 番	BA-600
集 塵 方 式	静電気フィルタ式(電気集塵方式)
電 源	100V 50/60Hz ACアダプター
定格消費電力	50W
待機時消費電力	1.0W
適用床面積	~43畳
最 大 風 量	11.5m ³ /分
運 転 音	約51.5dBA(風量強)、約26dBA(おやすみ)
空気清浄容量 (CADR)	約570m ³ /時(0.3μm微粒子)
集 塵 率	99.99%(0.3μm微粒子、約8畳、30分)
	99.99%(PM2.5微粒子、約8畳、30分)
ウイルス捕捉率	99.99%(約8畳、60分)
オゾン濃度	<0.04ppm(30m ³ 、24時間)
運 転 モ ー ド	自動運転: PM2.5自動/CO2自動/PM2.5+CO2自動 手動運転: 風量1/2/3/4/おやすみ
PM2.5モニター	表示範囲:0~999μg/m ³ (レーザーセンサー)
CO2モニター	表示範囲:420~5000ppm(NDIR方式、自動校正機能付)
換気推奨アラーム	CO2濃度が設定値を超えた場合 ※オフも可能
OFFタイマー	1 / 2 / 4 / 8時間
重 量	18.2kg(キャスター付)
寸 法	幅320×奥行320×高さ735(mm)

※ 本製品のパッケージ・デザイン・仕様について予告なく変更になる場合がございますので、ご了承下さい。

保証とアフターサービス

保証書		
品名	ベルエール 静電気フィルタ式 空気清浄機	
型式	BA-600	
お名前		
ご住所		
電話		
E-Mail	@	
保証期間	1年	
お買い上げ日	年 月 日	
お問い合わせ先	電話番号	075-600-2795
	会社名	グリーンコアテック合同会社

製品保証について

- ご注文に際してのご承認事項 ご注文に際しての見積書、契約書、カタログ、仕様書などの保証内容の記述がない場合には、下記の通りとさせていただきます。
また、当社製品は、使用用途・使用環境など限定するものがあります。
ご不明の場合は、当社またはお買い上げの販売店にご確認ください。

●無償保証、保証範囲及び免責事項

・無償保証

- (1)当社製品の保証期間は、製品ご購入の日から1年です。
保証期間内に取扱説明書の注意事項にしたがった正常な使用状態で本製品が故障した場合には、無償で修理いたします。
- (2)保証期間後に当社が修理を行った場合、修理した部分の保証期間は修理完了品納入日から3ヶ月です。

・保証範囲

- (1)上記保証とは当社製品単体の保証を意味します。
- (2)当社製品を使用したこと、当社製品に瑕疵があったこと、または故障したなどによる、若しくは当社製品を供給した時期(納期)によるお客様及び第三者が被った二次的な損害(間接損害や逸失利益などを含むがそれらに限らない)については保証対象期間の有無に関わらず、一切の賠償責任を負わないものとします。
また(1)に基づき当社が責任を負う場合であっても製品の購入金額を上限とします。

・免責事項

保証期間内であっても、次に該当する場合は有償修理となります。

- ①お客様の不適当な取扱の場合(取扱説明書などに記載されている条件、環境、注意事項などの不遵守)
- ②故障の原因が当社の責に帰さないとき
- ③当社若しくは当社が委託した者以外の修理・改造などによる故障・損傷
- ④当社製品の本来の使い方以外で使用的場合
- ⑤火災・天災・第三者による行為などによる故障・損傷
- ⑥誤った施工や使用方法による故障及び損傷
- ⑦ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障・損傷

梱包内容

番号	名称
1	本体 1台
2	プレフィルタ 1枚(本体内蔵)
3	イオン発生モジュール 1個(本体内蔵)
4	静電気フィルタ 1個(本体内蔵)
5	消臭フィルタ 1枚(本体内蔵)
6	ACアダプター 1個
7	取扱説明書 1冊
8	ブラシ 大1本・小1本

アクセサリは販売店でお買い求め頂けます。
以下のメーカー直販サイトでもお買い求め頂けます。

<https://greencoretech.com/ba-600/#shop>

グリーンコアテック合同会社

〒602-0853 京都市上京区宮垣町91-102

Tel : 075-600-2795

greencoretech.com

Green Core Tech LLC